

民間が保有する環境アセスメント資料のアーカイブ化に関する調査研究

公開研究会のご案内

民間が保有する環境アセスメント資料（調査研究や意見提出のために作成・収集した資料など）を保存し、公開できる状態にすることで、現在そして後世での研究や対策に寄与させるためには、どのような課題があるのか、他分野での実践や法律的立場からの助言に学び、意見交流するための公開研究会（全3回）を開催いたします。学会内外より本テーマに関心のある方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

※この研究会は住友財団 2017 年度環境研究助成を受けて実施しています。

第3回「民間資料のアーカイブ化に伴う法律問題」

第1回（於：京都大学内）では、京都大学経済資料センターを視察し、民間資料の保存をめぐる現状と課題を学びました。同センター長の岡田知弘教授は「公害・環境問題の一般性と地域性を踏まえた資料のアーカイブ化が必要」と指摘されました。第2回（於：地球環境パートナーシッププラザ）は、各地の公害問題に関する資料館のネットワークづくりを林美帆さん（あおぞら財団研究員）や星野智子さん（環境パートナーシップ会議副理事長）から伺い、立場の違いを超えた「学びの場のデザイン」の重要性を学びました。

第3回は、研究者やコンサル会社とその退職者、NGO等が保有する資料を扱う際の法律問題について、事前に用意した質問にお答えいただく形で議論を深めます。

日 時：2018年**5**月**7**日（月） **14:00～16:30**

会 場：**東京ウィメンズプラザ**（東京、地下鉄「表参道」下車、前回会場の国連大学の裏手）

参加費：環境アセスメント学会員無料（非会員 1,000 円）

主 催：環境アセスメント学会情報委員会（委員長・傘木宏夫）

内 容：話題提供と意見交流

14:00 開会、趣旨説明

14:05～ 話題提供「民間資料のアーカイブ化に伴う法律問題」

早川 和宏さん（東洋大学法学部教授、弁護士、日本アーカイブズ学会副会長）

15:05～ 質疑応答

15:40～ 今後の進め方についての意見交換

16:00 閉会

参加申込み&問合せ先：傘木宏夫（E-Mail. zvs11241@nifty.com）

または、NPO地域づくり工房（Tel&Fax. 0261-22-7601）